

お土産にも、体験活動にも ブースを盛り上げるツールとして

イベントなどでブースを出展した際に、来場者へのお土産に困ったことはないでしょうか。当協会では、そのようなときに活用できるグッズとして、直径が32ミリと37ミリの缶バッジを作成することができる「缶バッジマシン」の貸し出しを行

います。缶バッジのデザインを地域で見られる動物や植物にすることで、地域の自然に目を向けてもらうきっかけになるほか、団体名を入れることで団体のPRにもつなげることが出来ます。

活用事例の紹介

2月25日に、府中町脱温暖化市民協議会が主催する「緑の仲間フエスタ」の、府中町公衛協が出展した海洋ごみ問題に関するブースで、「缶バッジマシン」を活用していただきました。



缶バッジマシン（右）、作成した缶バッジ（左）



また、本教材はお土産や景品としての缶バッジを作成するだけでなく、来場者がその場で描いたイラストで、世界に1つだけの缶バッジを作成する体験にも活用することが出来ます。

ために自分ができることを考えてもらったそうです。

景品としてはもちろん、缶バッジ作成体験を行うことで、主に小学生以下の子ども達をブースに引き込むきっかけにもなります。また、缶バッジにする写真などを工夫することでPRにつなげることが出来ます。



府中町公衛協による缶バッジ作成体験の様子

業務の入口と出口の事務を担当 県外にも広がる営業エリア

業務開発課は、価格交渉や契約事務を行う「営業部門」と、検査結果などの成果品を納品請求する「請求部門」の2つの部門から成り立っています。業務開発課では男性6人、女性4人の計10人の課員が環境生活センターで請け負う業務の入口と出口の事務を担当しています。

そんな業務開発課には、毎日電話やメールで多くの問い合わせがあります。環境生活センターでは、環境、水道、食品、材料の幅広い検査を実施しています。そのため専門的な内容や、今まで実施したことがない検査の問い合わせも少なくありません。その際には検査担当課へ電話をつなぐこともあります。なるべくお客様の話を聞き、どうすれば検査できるか、何か手段はないのかなどを考えるよう心掛けています。また商号に「広島県」と「保健」が入っているためか、行政機関や保健所と間違われ「近所に不法投棄されたご

環境協の 環境生活 センター

③業務開発課

みがある」や「隣の犬の鳴き声がうるさい」といった問い合わせもあります。

お客様は広島県内の行政機関や民間企業がほとんどですが、近年は県外のお客様も増えてきました。沖縄県から検体が届いたり、昨年は北海道での調査も実施しました。

また、災害時において当協会の事業を継続するために、これまでに福井県、長崎県、香川県、中国地方3県の同業者と「災害時の相互支援協定」を締結し、いざという時にも検査を継続できる体制を整えています。そのような県外での業務を広げていくために、2021年には大阪府内、2023年には東京都内に営業所を開設しました。

業務開発課は、環境生活センターが持つ検査や技術力を全国の方々に知ってもらい、活用してもらうための伝道師の役割も担っています。

(業務開発課 野田 憲弘)



大阪営業所のあるビル（左）、東京営業所のあるビル（右）



もできます。ブースを盛り上げるツールとして、「缶バッジマシン」を活用してみたいかがでしょうか。

(地域活動支援センター)



東広島市の取り組みも交えて我が家でできることを発信を求めました。食品ロスが世界的な課題になっていることを振り返り、「買い物を付けることや、「食べる」ときに気を付けることなど、家庭や公衛協でできる取り組みを紹介しました。

また、食品ロスを削減することは、廃棄に伴うエネルギー消費量の削減につながり、地球温暖化防止にも役立ちます。今年度は、県内の食品ロス認知度の向上と取り組み実践をねらいに、啓発活動に力を入れて取り組みます。環境協では、昨年度から、全県共通事業重点メニューとして、食品ロスを削減し、地球温暖化防止に取り組む事業「食品ロス削減事業」を推進しています。市町レベルだけでなく、支部や地区・学区など小さな活動単位での公衛協活動も支援しますので、会議や研修、イベントなどで活用いただき、食品ロス削減のための啓発にお役立てください。

川柳コンテスト「フードドライブ」などの取り組み内容も紹介しました。参加者に食品ロスについての理解を深めてもらい、かつ、このような内容を地域住民にも広げてほしいことを伝え、事業の趣旨を理解していただきました。

に、オリジナルのパネルやクイズなどの教材を作成しており、これらの教材の貸し出し、ノベルティの提供、講師派遣などの支援をしています。市町レベルだけでなく、支部や地区・学区など小さな活動単位での公衛協活動も支援しますので、会議や研修、イベントなどで活用いただき、食品ロス削減のための啓発にお役立てください。

(地域活動支援センター)

公衛協の 活動 現場 から

重点メニュー「食品ロス削減事業」第1号

廃棄のエネルギー削減で脱温暖化も

②東広島市公衛協